

# あったらいいな いろんな学校

特定非営利活動法人 日立太陽の家  
理事長 小又克也

小学校で、障害別に適した個別対応の授業というプロセスの面を確保しながら、どうしたら同じ地域で暮らす仲間たちとの空間を共有する事ができるかという事になるのだろうか。この空間の共有という当たり前の、なんでもない願いを叶える方法はないのだろうか。なぜこのようなことを考えるのかという事、当法人で関わるお子さんの中から、毎年のように小学校入学を迎える方が出て、さて入学は地元の小学校がいいのか、特別支援学校がいいのかと、その他諸々たくさんのご心配に悩み悲しい思いをする方がいるからです。少しでも楽しくワクワクと入学の時を迎えたい、そのために何かできることがあるのでは、『福祉の街日立』だからこそできることがあるのではと考えてまいります。

じいからは夢で見たお話です。

NPO法人日立太陽の家のグループホームだった『風の家』の中に、日立市全小学校の共通分校『風の家分校（教室）』ができました。

そこに配属になった担任の先生は、あるときは、風の家の中の個別教室で個別の授業を行います。医療が必要なお子にはもちろん看護師がいらっしゃいます。必要な介護の提供もあり、排泄排尿の時間も大切な時間であるのはもちろんです。

あるときは児童の地元の本校に、先生と一緒に出かけます。本校内で、色々な設備を使いながら、そして本校の友達との共有する時間があります。地域の友達もいて、一緒に授業で、勉強の時間でもなぜか楽しい時間になります。

今日は、母子療育ホームで機能訓練を受ける予定です。学校の先生も一緒なので、この時間も授業です。先生も少しずつ機能訓練のノウハウを学んで、支援の幅が広がっていきます。放課後には母子療育ホームの放課後等デイサービスを受けて入浴の支援もあるので家族にとっても助かります。

更に給食の提供があつて、普通食はもちろん、刻み食もムース食も、経管栄養の提供もあるのが安心です。

全国の中には、国の特例という形で色々とユニークな、魅力的なことを実践している小学校があるようなのでお願いをしてみたら、なんと日立も特例として認められました。

まあ、いよいよ明日は新しい担任の先生が発表される日です。どんな先生かとワクワクしていたら、なんとじいじが目が覚めてしまいましたが、残念。

それについてもさう夢だったなあ、正解になんていらないなあ、あったらいいないろんな学校。